

お客様各位

## InterOpto 2010 出展のご案内

拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度“InterOpto 2010”(9月29日－10月1日)に出展いたしますので、下記に主な展示内容をご案内させていただきます。

ご来場の際は是非、当社ブース #I-18にお立ち寄り頂きます様お願い申し上げます。

また、メーカー担当者による技術セミナー(9月29日 水曜日)を行いますので、こちらも合わせてご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

## 出展製品の見どころ

①高出力・単一周波数 DBR レーザー (アメリカ、Photodigm 社)	卓越した最新のウエハープロセス技術により、DBR レーザーを信頼性の高い安定した高出力・長寿命製品に仕上げました。研究用途だけでなく工業用途の重要な光源として各種製品の内部で使用されています。
②高出力モードロックファイバーレーザー (アメリカ、PolarOnyx 社)	課題であった High Power、High Energy ファイバーレーザーの短パルス化(<100 フェムト秒)を独自のパルスシェイピング、スペクトラムシェイピング技術(特許取得)により成功しました。 小型軽量でメンテナンスフリー、なおかつ低価格を実現した待望のフェムト秒レーザーです。
③IBS コーティングミラー (アメリカ、Precision Photonics 社)	イオンビームスパッターコーティングはその基板に対する密着性が良く極めて耐久性と反射率が高く、また波長シフトが発生しないなど数々の特徴があります。製造原価引き下げに成功したため低コストで提供可能です。
④パッシブ Q スイッチ ピコ秒パルスレーザー (フランス、Teem Photonics 社)	1mm角のレーザーキャビティ内にレーザー媒質、共振ミラーまで含むマイクロチップモノリシック構造で、良質なビーム品質と高い信頼性を生み出しています。 長寿命のレーザーなので機器組み込み用途に最適です。
⑤ウルトラステイブルレーザー (アメリカ、Vescent Photonics 社)	JILA の研究者たちが開発した究極の周波数安定化レーザーです。レーザー本体、John Hall 設計の低ノイズドライバー、低ノイズレーザーコントローラー、サーボコントローラーで構成されています。
⑥ノンメカニカルスキャナー (アメリカ、Vescent Photonics 社)	液晶を利用しメカ的動可動部がなく、ポリゴンスキャナー、ガルバノスキャナー、AO・EO 偏向器に替わる高機能、画期的なスキャナーです。2D スキャナーは X:10 度、Y:40 度、10kHz の速度で駆動可能です。

その他多数、特徴のあるレーザー関連商品を展示いたします。

オーテックス株式会社

## InterOpto 2010 出展者セミナーのご案内

日時：9月29日 水曜日

場所：【クローズ会場】 BioOpto Japan 2010 展示会場内カンファレンス会場

15:00-15:45

### 「固体レーザーからファイバーレーザーへ、進む技術革新」

PolarOnyx 社 Jian Liu 氏

従来、ファイバーレーザーの課題であった、高出力、高エネルギーで 100fsec 以下の短パルス化の開発に取り組み、ついにパルスシェイピング技術や、スペクトラムシェイピング技術（特許取得済）に画期的な改良がなされました。PolarOnyx は CLEO2006 と 2007 において、技術革新に与えられるイノベーションアワードを受賞しました。

16:00-16:45

### 「シャックハルトマンセンサーにおける反射波面計測と光学セッティング」

Optocraft 社 Ralf Dorn 氏

近年、干渉計に変わるレンズ検査法として見直されているシャックハルトマンセンサーによるレンズ表面検査について、および、ダブルパス方式による高 NA 対物レンズの波面計測について、セッティング方法、注意点などを具体的な事例を用いながら紹介します。

以上